



## 全國学力学習状況調査の結果について

4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の調査結果についてお知らせします。この調査は、毎年全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施し、生徒の学力学習状況を把握し、授業や生活の改善に役立てる目的としています。また、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査も実施しています。文部科学省から公表された調査結果に基づき、全教員で結果の分析と考察を行いました。成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、今後さらに取組を充実させていきたいと考えています。

中学校では、国語・数学の2教科を毎年実施し、理科・英語を3年に1度程度で実施します。今年度は、教科に関する調査は国語と数学と理科の3教科を実施しました。

### <全国平均と比べた今年度の本校平均正答率>

国語：全国と比べて上回っている	数学：全国と比べて上回っている	理科：全国と比べて上回っている
-----------------	-----------------	-----------------

【国語】概ねどの項目においても全国に比べて正答率は高く、これまでの取組が成果として現れています。しかし、全国的な傾向と同様に、文章で伝えたり、自分の考えを文章で書いてまとめたりする項目において課題が残ります。自分の考えを発表したり、つづり方等で自分の考えをまとめたりする取組の成果は一定あるものと考えます。しかし、「本や新聞を読むこと」が全国に比べてやや低いことから、そこから学ぶ語彙や表現方法等に触れる機会が少ないと、つづり方の取組においても、教員からの問い合わせに対する返答は、自ら文章の内容を深めていくことにまでつながっていないという点が課題であると考えます。

【数学】国語と同様に、ほとんどの項目において正答率は全国に比べて高い。証明や説明問題等では、プリント学習や自主学習等の取組の成果は一定出ているものの、一次関数で増加量を求める問題や素数を答える問題のように、基礎基本になる知識や処理に課題が残る。中1からの復習も含めて、学んだことを繰り返し学習をし、基礎基本となる知識や理解を確実な力にしていくための家庭学習が必要になると考えます。

【理科】ほとんどの項目において、全国と比べて同じ程度か又は上回る正答率である。実験や資料をもとに理由を選択したり、答えたりする問においてはできているが、数学の分析同様、元素記号や地層の問題等、以前に学習した基本となる内容をそのまま問われるような問題に課題がある。どの教科にも共通し、基礎基本の内容をしっかりと定着するためには家庭学習に時間をかけて繰り返し学習を重ねていく必要がある。

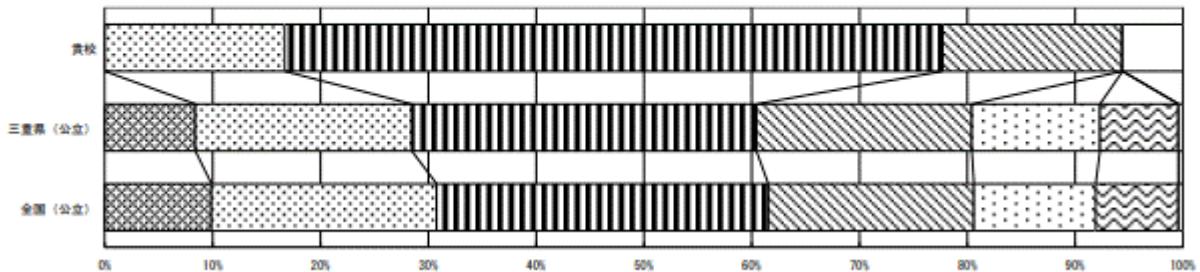
【家庭学習について】生徒質問紙調査結果より（次ページ参照）

各教科の分析でもお伝えしたように、家庭学習が全国に比べて少ない現状です。具体的には「平日、家庭学習を1時間以上している」という生徒は全国に比べて多いですが、「2時間以上している」という生徒は昨年より増加してはいるものの、全国に比べるとまだまだ少ない状況です。また休日においても同様で、一定、家庭学習には取り組んでいますが、「4時間以上」や「3時間から4時間」の項目が低いように、じっくりと時間をかけて学習に取り組むというところが課題です。確かな学力をつけるためにも、じっくり時間をかけ、何度も繰り返し学習に取り組み、基礎基本の知識を身につけたり、処理できたりできるように取り組んでいきましょう。

◎学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

本年度

■1. 3時間以上 □2. 2時間以上、3時間より少ない □3. 1時間以上、2時間より少ない □4. 30分以上、1時間より少ない □5. 30分より少ない □6. 全くしない ■その他 □無回答

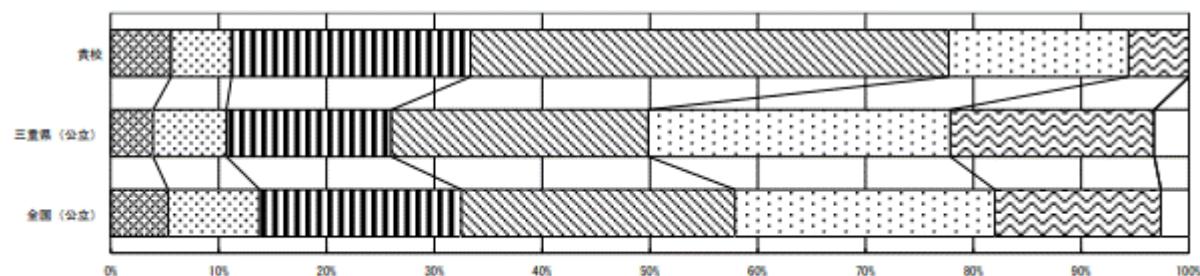


さくねんど  
昨年度

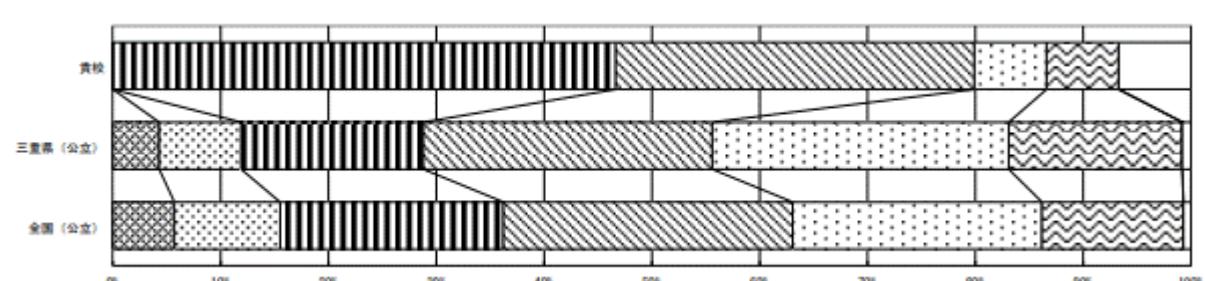
◎土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

本年度

■1. 4時間以上 □2. 3時間以上、4時間より少ない □3. 2時間以上、3時間より少ない □4. 1時間以上、2時間より少ない □5. 1時間より少ない □6. 全くしない ■その他 □無回答



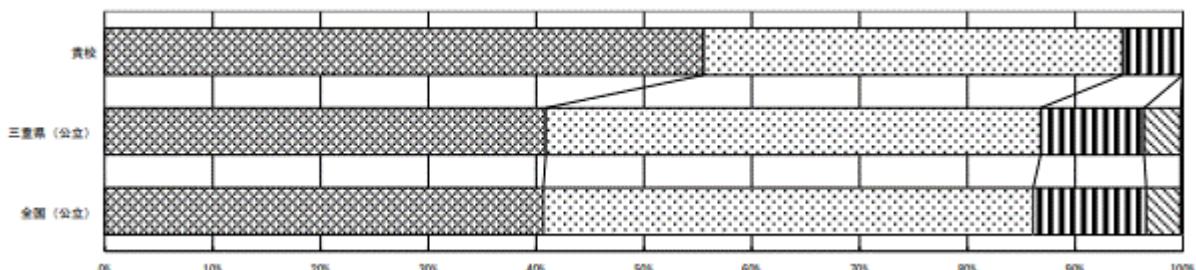
さくねんど  
昨年度



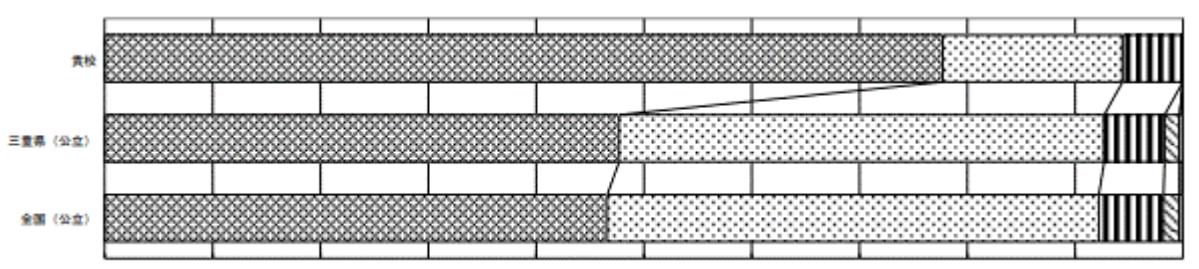
せいとしつもんし ちょうさけっか がっこうせいいかつ かか ちょうさけっか いぢれい  
**生徒質問紙の調査結果より(学校生活に係る調査結果の一例)**

1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない その他 無回答

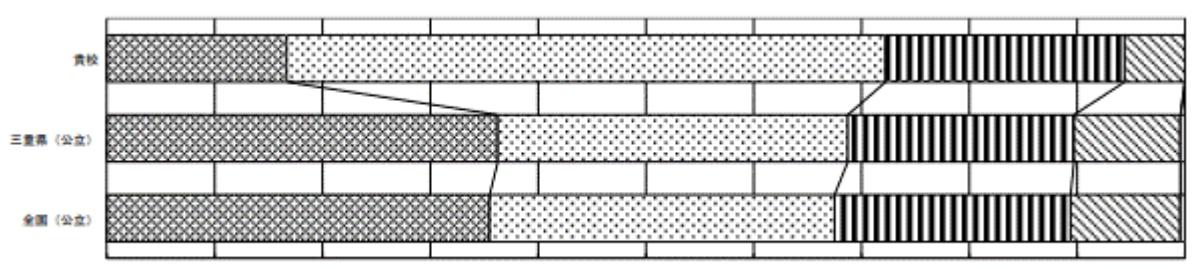
○自分には、よいところがあると思いますか



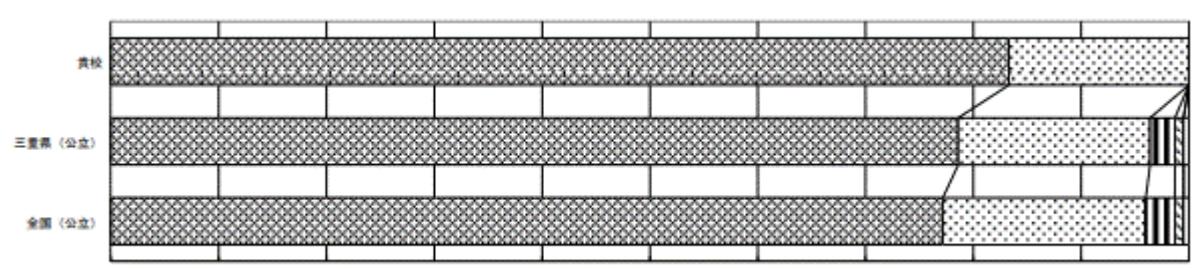
○先生はあなたのよいところを認めていますか



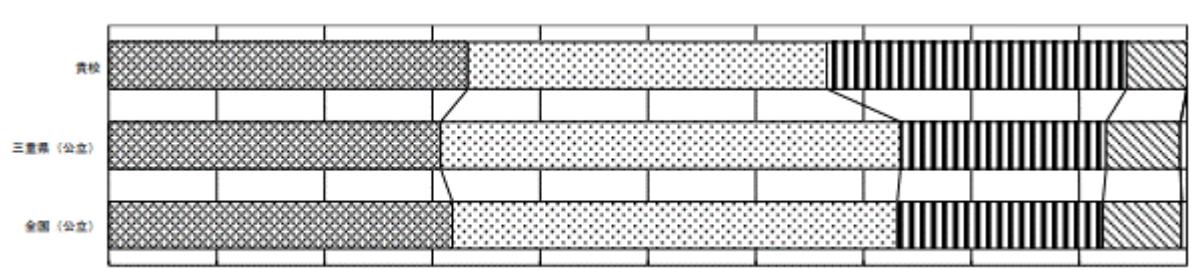
○将来の夢や目標を持っていますか



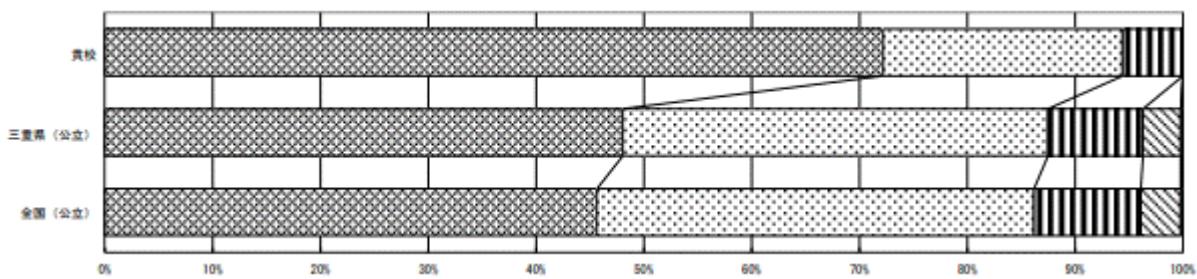
○いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか



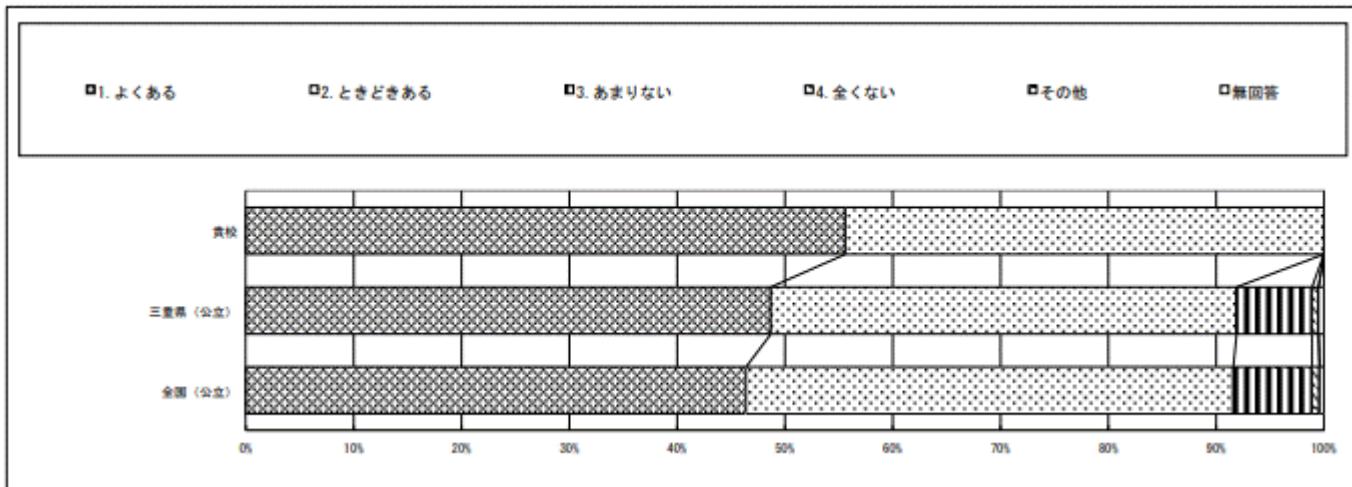
○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



○学校へ行くのは楽しいと思いますか



○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



本校の場合、生徒数が少ないこともあり、一人あたりの占める割合が大きいので、回答結果の割合は多少ぶれではしまいますが、「学校へ行くのは楽しいと思いますか」「自分には、よいところがあると思いますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問事項についての回答は、全国を大きく上回っていました。日頃より柘植中学校が大切にしている“つづり方”や“一枚文集の取組”も含め、なかまづくりや学級集団づくりをベースとした人権（エンパワメントの力）の取組の成果であると見えます。「先生はあなたのよいところを認めていますか」という質問項目では肯定的な回答が多い中、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問では全国よりやや低い傾向があります。また、キャリア（キャリアデザインの力）的側面において、「将来の夢や目標を持っていますか」の質問項目では、肯定的な回答は全国に比べて上回っているものの、自分にとっての夢や目標がまだまだはっきりしていない状況であるように思います。自分の夢や目標を持つことは、学力向上にも大きく影響してきます。今後、出会い学習や進路学習を通して、将来の自分を考える機会を大切にし、また、テストの結果を受けてやキャリア学習の内容とも重ねたキャリア教育相談等にもさらに取り組んでいきたいと思います。

柘植中学校の課題克服に向けた目標!

「平日2時間以上、休日4時間以上家庭学習をする」

- ・授業でわかったことを定着（「わかる」から「できる」へ）させるために、家庭学習で繰り返し学習をしよう
- ・余暇の時間は、本や新聞など、活字に触れる時間を増やそう
- ・自分の夢や目標を確かなものにしていくため、学校や家庭での多くの体験・経験を大切にしよう